

日本あちこち河川遡行記（第286回）

奈良 1-6-3. 高取川（その3）令和1年9月27日（金）曇り

今日の天気予報は曇りで小雨も覚悟して出かける。予定では大和川最後の支流「寺川」だったが、合流点付近に向かう川西町のコミバスに乗るにはいつも1か月前に予約している岡山発8時14分の早特切符のこだまでは間に合わず、今日は前回中途半端な所で終わった「高取川」の最後の区間の調査と折角なので飛鳥の史跡を目指すことにした。

歩く時の右足の踵の痛みが続き、歩き通すか、貸自転車にするかは様子を見て決めることにする。前回の折り返し点の近鉄「岡寺」駅に11時到着。駅前の橋を渡り高取川の左岸側を南に向かう。川の東側は近鉄吉野線と国道169号が並び、西側は小高い丘が接近して間の道を進む。丘の擁壁の前に黄色が際立つピカチュウの幼稚園の送迎車が駐車している。その出来栄えに感心し暫し見てカシャ。これなら通園が楽しいだろうな。



01.ピカチュウが園児送迎車に変身

直ぐの最初の橋は歩道橋であるが対岸に道が無く直ぐ傍に線路が有る。これでは利用することも出来ずどういうこっちゃ！右岸側を進むことも出来ずそのまま暫く左岸側を進むと、道の先は森に消えている。仕方なく丘の上の団地の方に坂道を登り県道207号にたどり着き、川と線路を越える「見瀬跨線橋」を歩く。橋から下を見れば眼下の橋がポツンと寂しげにしている。



02.橋の向こうは行き止まり



03.上から見れば、これでは誰も渡らないよ

ぐるりと180度回転し国道169号に合流する。交差点の南には大きな看板が「いらっしゃーい！」と呼び掛けている。美味そうな和食の大衆食堂で入りたいが既に阿部野駅のコンビニでサンドを買っているのでパスする。遡行で食堂と遭遇する前提では危ないので買っておいたのが仇になった。



04.美味げな店だなー、これならサンドを買うんじゃなかった！

橿原市から明日香村に入るが国道には市村境の標識が無い。直ぐ東に「欽明天皇」の御陵があるので国道を離れ東に向かう。緩やかな坂道を進み左折すべき交差点の少し先に奈良らしい簡素な佇まいの新しい郵便局（明日香平田郵便局）が見えるので立ち寄る。白、こげ茶、鼠の3色だけのシンプルかつモダンな和風建築である。



05.大和らしい建物の郵便局

交差点に戻り右折し北に向かう。小学生が遠足か校外学習で数名ずつのグループで御陵から歩いて来る。東に有る「鬼の雪隠」と「鬼の俎板」に向かうのだろう。御陵は周囲に堀を巡らした飛鳥では大きな墳墓で、東に向かって遙拝するようになっている。



06.欽明天皇陵に立ち寄る



07.飛鳥では最も大きな墳墓だ

御陵の直ぐ西には「吉備姫王」の小さな墓もあり、その名前が吉備なのでこんもりとしたミニミニ丘に登る。小さくても欽明天皇陵と同じような鳥居と柵に囲まれた陵墓の内側には左右に2体ずつの石像がこちらを見ている。「猿石」と言われている石像だが🐼には見えんぞなもし！右奥の石像はディズニー映画に出てきそうなキャラの石像だ。



08.直ぐ近くには「吉備姫王」の墓も



09.柵のすぐ内側には4体の石像が



10.これが「猿石」？

国道に戻り川沿いに進むと道の東側に敷地はそれほど広くないが立派な木の塀に囲まれた大きな屋敷が建っている。その前を景観をぶち壊す車が通過していく。



11.国道脇に立派なお屋敷が

国道から川の西側の狭い道を進み近鉄飛鳥駅前に着く。駅前広場から国道に向かう道路が川を越える橋の名は「高松橋」。地域名では無く高松塚古墳を意

識した橋名である。短い幅の広い橋の親柱には四隅とも「青龍」の青銅板が嵌められている。青龍は四神の中の東の神で、駅前から1kmほど東に古墳が有るので全てを青龍にしたのだろう。橋の北側の高欄には北の神「朱雀」が、南の高欄には南の神「玄武」の金属板が添えられている。西の白虎が居ないぞ！橋名板も親柱も殆ど無い奈良県の橋では稀有な存在である。



12.飛鳥駅前の「高松橋」の親柱は四神の「青龍」



13.南側の高欄には「朱雀」が



14.北側には「玄武」が

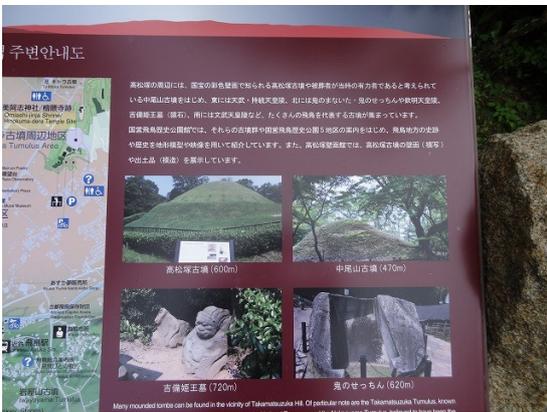
駅の方に向かうと観光案内所と貸自転車の店が並び、広場の反対側には巨大な貸自転車の車庫が有る。ここからレンタサイクルで史跡を巡るか川を更に南に進むか考える。橋長が5m未満となり遡行対象外となるので橋の調査はここまでとし、史跡巡りとするがレンタル料が馬鹿高い！どの店を普通車が900円（休日は1,000円）、電動アシスト車は1,400円もする。先日利用した八木駅前の橿原観光協会の車は1,000円だった。倉敷市児島駅内の観光協会が運営する電動車は500円なのであほらしくて止める。普通、貸自転車は地元の観光協会や市町村から委託された組織が運営しているが、ここ明日香では全て民営で同じ料金で高止まりである。多くの観光客の足元を見た料金である。皆さん自

転車は使わず歩いて史跡を巡りましょう！



15.近鉄飛鳥駅前は大広いぞ

道路に看板が立ち読んでみると、今日は高松塚古墳で発見された壁画の修復作業がほぼ終わった本物を予約無しで見学できる、と書かれている。これはもっけの幸いと足を東に向ける。少し痛い右足をだましだまし丘に上がり塚とは反対側の文化庁の出先の建物で申し込みをして順番を待つ。



16.高松塚古墳に向かう



17.古墳の反対側（北側）に

30分ほど待ちガイドを受け20名ほどが1班となり復元修理を行っている建物に向かう。明るく広い部屋には4面の壁の石と天井、床の石が台座の上に置かれ、部屋の外側の廊下から窓越しに壁画を見る。目の前には壁に描かれた有名な3名の女官らしき女性の絵が有る。大変な手間と時間をかけて修復された壁画である。カメラは使えないので目に焼き付けておく。四神像の絵は遠くに有り、薄い色なので良く分からないが一番のスターが良く見ることが出来て満足して外に出る。



18.壁画は石室から解体し修復作業に



19.今日は予約無しで壁画の修復作業室が見学できる



20.7年前からこの建物内で修復作業を

来た道に戻り駅に向かう。国道の交差点の南東角に大きな農産物などの販売所があるので立ち寄る。仏花、果物、野菜、新米、酒と何でも有るぞ。徳島名産の「スダチ」、大分の「カボス」、広島「レモン」など他県の特産品を奈良のここでも創り販売している。今や1県の特産品がどこでも作られるご時世になってしまった。

栗、子芋、コンニャク、レモン、柿の葉茶、お稲荷さんを買ってリュックに詰め込む。今日は飛鳥に買い出しデーだ。帰岡してスーパーで今が旬のヤリイカを買って小芋、コンニャクなどとの煮つけを造るか。



21.駅前の大きな道の駅でお買い上げ

飛鳥駅から急行に乗り阿部野に向かう。乗車した電車の外側には飛鳥に係わる和歌と見目麗しい女性の絵が隙間なしに描かれている。1編成ぐらいいは車内に和歌を中吊りなどにして通年走らせれば良いのにと感じてしまう。近鉄はんやりまへんか？



22.近鉄だから出来るこのコマースヤル

本日の歩行距離：6.3km。調査した橋の数：8。
総歩行距離：10,586.4km。総調査橋数：13,619。
使用した1/25,000地形図：「畝傍山」（和歌山2号-3）